

株式会社 マツバラ



代表取締役社長
松原 光好

岐阜県
関市迫間字大下1-1

1950年(昭和25年)設立
Tel 050-3541-2377

<http://www.k-matsubara.co.jp/index.html>

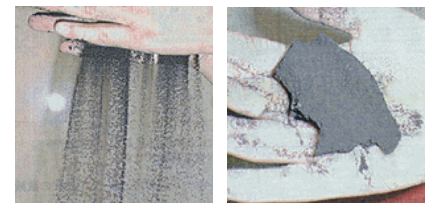
9割以上バリ無しの铸造 環境対応のトップリーダー

鑄砂への添加材の開発により、9割以上をバリ無しで鑄造する。鑄造工場においてゼロエミッション・クリーン化を実現し、工場のすぐ下流では多数のホタルが生息する。

鑄砂への添加材の開発により、9割以上をバリ無しで鑄造

添加材(Green Bond(GB))の開発により、添加材使用量の大幅な削減、不良率減少を実現するとともに、9割以上をバリ無しで製造することが可能とし、6割以上については仕上げも無い(セキなし)も鑄造を可能としている。GBを添加することで、低水分・高表面安定・充填性の向上を実現する。

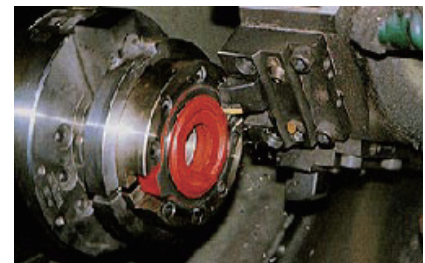
また、小物鑄物生産性も200トン/人・年を達成し、生産性も非常に高い。



GBを添加した砂の様子

高被切削性鑄物を実現

従来の鑄物に比べ、刃具2~8倍の持続性を可能にし、加工速度20~30%アップの可能性を持つ鑄物を実現。厳選した鑄物用原材料の使用と、キュポラによる高温溶解技術、低水分3.2±0.1%の砂管理など、徹底した製造管理により高被切削性鑄物を実現した。



高被切削性を実現

鑄物工場のゼロエミッション・クリーン化を実現し、ホタルとも共生

工場が発生する全ての物質を有効的に活用すべく取組を行い、ゼロエミッションを実現している。例えば、油含有砂は油分を飛ばしてセメントや細骨材に活用、キュポラ落底廃棄物はコークス及び鉄に分離して再資源化、スラグは分離・破断して路盤材として活用している。

また、白い作業着を着用することで意識の向上と、セントラルクリーンシステムなどによりクリーン化を実現している。

工場のすぐ下流では多数のホタルが生息し、真に環境に優しい工場が実現されていることが証明されている。



工場及び工場周辺



ISO14001 (BS EN)の取得及び数々の環境優良賞を受賞



白い作業着の採用